

 <h1>学校だより</h1> <p>12月号 令和7年12月1日発行</p>	<p>朝霞市立朝霞第一中学校 〒351-0013朝霞市膝折2-31 TEL: 048-461-0076 FAX: 048-467-4741 E-mail: lchuu@asaka-s.ed.jp</p>
<p>目指す学校像 希望を胸に未来へ前進する学校</p>	



選 択 肢



校長 唐松 善人

現在、本校では中学校3年生を対象にして、管理職による面接練習を実施しています。この面接練習では、中学校卒業後の進路選択について生徒一人一人の意識を高めさせるとともに、将来の生き方や職業希望についても生徒自身に考えさせることをねらいとしております。

生徒の中には、中学校卒業後の進路について、複数の選択肢の中から自分の進むべき道を真剣に考え、迷っている人もいました。進路に限らず、生徒がこれからの人生を歩んでいくうえで、選択に迷うということはよくあることです。このように選択に迷った際には、2つの段階に分けて考えることが大切だと私は思います。2つの段階とは、「選ぶまでの段階」と「選んだ直後からの段階」です。

まず、「選ぶまでの段階」では、できるだけ多くの情報を収集し、状況を真剣に考察することが大切です。進路であれば、自分は将来、何をしたいのかをよく考えたうえで、高校の説明会や文化祭に行くなどして進路先の情報を可能な限り集めます。その際、大切なことは、他人が何をを選ぶのかという視点ではなく、自分が何をを選ぶのかという主体的な視点を持つことです。他人の目を気にして選択したのでは、後に後悔することになってしまうかもしれません。

次に、「選んだ直後からの段階」では、自分が選んだ選択肢を正解にするという強い決意を持ち行動することが大切です。どの選択肢を選んだのかで人生が決まる訳ではありません。本当の人生の勝負は、選択肢を選んだ直後からの自らの行動によるのです。中学校卒業後の進路でいえば、第一志望の高校に合格できたとしても、それだけで幸福になれる訳ではありません。高校に入学後、自分自身が何をどのように行動するのかの方がより重要なのです。

高校入試における選択肢問題の正解とは違い、人生には唯一絶対の正解となる選択肢が最初から存在している訳ではありません。後で振り返ってみると、あのときの失敗があったからこそ、今の成功があるのだということはよくあることです。大切なことは、自分自身で選んだ選択肢を、その後の自分自身の行動で正解にしてしまうことだと私は考えます。本校の生徒が、中学校卒業後、強い決意と逞しい行動力によって、自分自身の夢を実現して欲しいと願います。

